

第61回

# 教育科学研究会全国大会(対面・オンライン併用)

主催 教育科学研究会・埼玉飯能大会実行委員会  
後援 飯能市教育委員会

## 出会い・語り合い 紡ぐ希望 2023年8月8日(火) -いのちと平和の危機のなかで- 9日(水) 10日(木)

### スケジュール



10:00~12:00 教科研講座(対面のみ)※会場定員300名  
13:30~14:00 はじめの集い  
14:00~16:20 『プリズン・サークル』上映(対面のみ)  
16:35~18:00 記念講演



9:30~12:00 教育問題フォーラム  
13:00~15:00 おわりの集い



9:30~17:00 分科会  
17:15~ 教科研総会

### 会場

8日

#### 飯能市市民会館

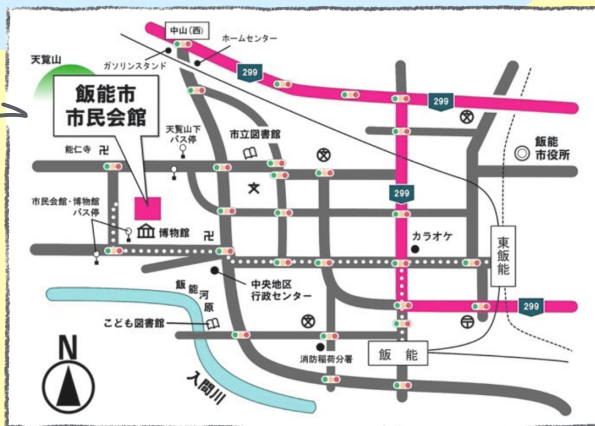
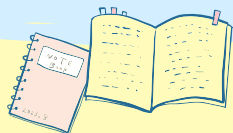
〒357-0063 埼玉県飯能市大字飯能226-2 ※駐車場有(無料)  
西武池袋線 飯能駅北口下車 徒歩20分

■国際興業バス(1時間1本程度)

「湯の沢」「名栗車庫」「名郷」「上赤沢」「中藤(青石橋)」「中沢」  
「間野黒指」行き 「市民会館・博物館」バス停下車 徒歩2分

■西武バス(1時間3本程度)

「西武飯能日高」行き 「天覧山下」バス停下車 徒歩2分



一部8日・9日・10日

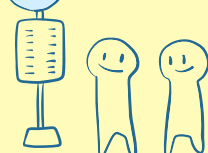
#### 自由の森学園中学校・高等学校

〒357-8550 埼玉県飯能市小岩井613番地 ※駐車場有(1日1000円)

西武池袋線 飯能駅南口 又は JR八高線 東飯能駅西口 からバス利用

教科研大会自由の森学園専用バス(往復600円) ※バス時刻表はHPをご覧ください

※バス・駐車場は、参加申し込み後に配信されるグーグルフォームにてお申し込みください



### はじめの集いと記念講演

#### 『プリズン・サークル』(2019年)上映 (対面のみ)

取材許可まで6年、塀の中のプログラムに2年間密着したカメラは、窃盗や詐欺、強盗傷人、傷害致死などで服役する4人の若者たちが、新たな価値観や生き方を身につけていく姿を克明に描き出していく。

#### 講演 希望の〈不在〉と〈兆し〉に耳を澄ますー教育の現場とサンクチュアリをめぐるー

映画の舞台は刑務所であり、主人公は受刑者だが、映画が問うのは教育や子どもをめぐる状況だと監督は言う。主人公の登壇も予定し、サンクチュアリ(安全な場所)の構築を通して希望を回復していった過程を明らかにする。



#### 坂上 香(さかがみかおり)

ドキュメンタリー映画監督

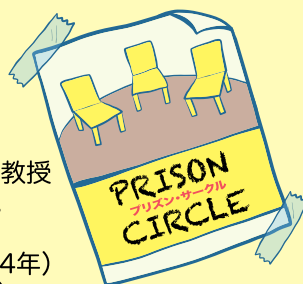
NPO out of frame代表 一橋大学客員准教授

〈暴力に頼らない世界〉を夢見て旅を続ける。

劇場公開作品は、

『Lifersライファーズ 終身刑を超えて』(2004年)

『トークバック 沈黙を破る女たち』(2013年)



### ①自由の森学園のESD実践を知るエコツアー

精製した使用済みてんぷら油で走るワゴン車で飯能駅を出発し、間伐している林としない林を比較し、学園の材木端材を薪にするバイオマスボイラー棟も見学予定です。  
世話人▶鬼沢真之(埼玉)・安藤聡彦(埼玉)

※先着18名  
参加申し込み後に配信されるGoogleフォームにて申し込みください



### ②中高の教師あつまれ!

不登校、ブラック校則、ICT機器、多忙化、親との関係。職場の変化についていけない日々が続いていませんか？  
中高の教師でぶっちゃけトークをしましょう!  
世話人▶小池由美子(埼玉)・鈴木博美(東京)

### ③若い教師たちの教室物語『毎日がチャレンジ』

『教育』には連載『毎日がチャレンジ』がある。若い教師の失敗話や喜びのエピソードが綴られています。そんな仲間に登場してもらい実践を皆で交流したいと思います。  
世話人▶村角あゆみ(山梨)・山崎隆夫(神奈川)



### ④怖くない体育の学習会をつくってみた

経験年数や役職にこだわらぬ体育会系な研究会はもうイヤだ。体育専門でなくても参加しやすい学習会を立ち上げた狙いは？  
運営していきながらわかってきたことは？  
世話人▶吉澤潤(東京)・増田陽(東京)

### ⑤保護者も聞きたい!かたりたい!

「よい子育て」「よい家庭教育」を求められる風潮にさらされているわたしたち保護者。でも本当は、こんなふうに子育てしたいんだよね…そんなことを語りながら、学校とのかかわり方も含め、それぞれの道しるべを見つけていきましょう。  
世話人▶高山春佳(東京)・荒巻りか(東京)

### ⑥学校給食無償化について語り合おう

給食費負担が重い。そんな中給食無償化を求める運動が全国に広まり、320以上の自治体で無償化が実現しました。給食無償化について語り合しましょう。  
世話人▶田沼朗(東京)・三橋勝美(埼玉)

### ⑦教科研で語り隊・出会い隊

参加者の中からトークテーマを募集します。できた複数のテーマから1つを選択し、30分毎にグループとテーマを変えて合計3回語り合います。同僚や家族とは話さきれない「教育」の話と一緒にしましょう!  
世話人 / 花山泰裕(岐阜)・西田佳(東京)

### 分科会1 子どもの生活と文化

テーマ▶ゆたかな子ども・青年期を保障するために  
内容▶○家庭・学校・地域で子どもたちの「いま」、子どもをリアルにとらえる  
○子ども・青年のそのままの自然、自然の中で生きることの意味  
○物語・ファンタジーのなかで生きることの意味  
世話人▶泉宜宏(東京)・入澤佳菜(奈良)



### 分科会2 青年期の教育

テーマ▶教育改革に抗し、学校内外に豊かな青年期の教育を  
内容▶○高校統廃合・再編と学ぶ権利のゆくえ  
○コロナ禍の青年期に向きあう教育実践  
○地域コミュニティにおける若者支援の取り組み  
世話人▶小池由美子(埼玉)・児美川孝一郎(東京)

### 分科会3 能力・発達・学習

テーマ▶発達論と教育実践から自己の育ちを考える  
内容▶○坂元忠芳の人格発達論の検討  
○小学校高学年の算数での子どもの学びと成長  
○学童で育ちあう子どもと親、指導員  
世話人▶神代健彦(京都)・藤澤淳(北海道)

### 分科会4 身体と教育

テーマ▶子どもの権利条約の視点で身体からwell beingを問う  
内容▶○「いのち」・健康に対する目的意識とwell being  
○仲間・集団の中で今を共に生きる活動とwell being  
○社会認識とwell being  
世話人▶山本晃弘(神奈川)・横田誠仁(東京)

well being



### 分科会5 美的能力と教育

テーマ▶生きることと表現することとの関係を深く探る  
内容▶○思春期・青年期・成人期の表現活動とその意味  
○コロナ禍の中での表現の制約と可能性  
○中学生の演劇と美術の活動  
○障害を持つ青年のダンスの活動  
世話人▶市橋久生(埼玉)・山田康彦(三重)



### 分科会6 ことばと教育

テーマ▶主体的な学びをつくることばの教育  
内容▶○ことばの豊かな発達とコミュニケーション  
○ことばを育てる国語・外国語の授業  
○生活に根ざして紡ぐ自己表現活動  
世話人▶瀧口優(東京)・神郁雄(東京)



### 分科会7 社会認識と平和

テーマ▶平和の危機の時代における教育実践の希望  
内容▶○戦争の現実を子どもたちとどう見るか ○平和への希望を教育実践でどう紡ぐか  
○格差の中で生きる子どもたちと何を学ぶか ○希望を行動へどうつないでいくか  
世話人▶菅野真文(北海道)・池田考司(北海道)



### 分科会8 自然認識と教育

テーマ▶自然認識発達での「深い学び」論を問い直す  
内容▶○子ども・青年のもの・自然認識の現代的特質を探る  
○自然認識発達における本質的学びを創り出す  
○「もの・自然」と関わることの教育的意味と価値を探る  
世話人▶伊東大介(東京)・三石初雄(東京)

### 分科会9 道徳性の発達と教育

テーマ▶子ども・若者の権利とシティズンシップ教育  
内容▶○子どもの権利と道徳性一生徒指導提要改訂を契機に—  
○生活綴方による関係性の構築について  
○フードロスと子どもの貧困一食と人権について考える—  
世話人▶奥平康照(東京)・櫻井敬(東京)

### 分科会10 教育課程と評価

テーマ▶教育実践を生かす教育課程と評価の再生・創造  
内容▶○教育のDX化と企業化が歪める教育課程と評価  
○教師が願う子どもの育ちの姿から立ち上がる教育課程  
○子どもの学びと育ちを愛おしむ評価—自由の森の実践  
世話人▶本田伊克(宮城)・桜井恵子(神奈川)

### 分科会11 学校づくり

テーマ▶いまを生きる子どもと共に学校をつくる  
内容▶○いま、子ども・保護者・教職員は？  
○急展開する学校給食無償化の動向  
○子どもが主体となる学校をつくる  
世話人▶田沼朗(東京)・三橋勝美(埼玉)



### 分科会12 地域と教育

テーマ▶「ひとなる」ことの舞台)をともに学びあう  
内容▶地域からの報告  
○子どもの居場所をつくる:チャイルドスペースあゆみ(鹿児島)  
○地域の学びを掘り起こし紡ぎ出す:夜間中学校と教育を語る会(東京)  
世話人▶相馬直美(埼玉)・安藤聡彦(埼玉)



### 分科会13 政治と教育

テーマ▶主体的に生きることの困難を考える  
内容▶○今「新自由主義」を問う  
○現在の若者を探る  
○主権者とは  
世話人▶寺尾昂浩(神奈川)・佐藤高樹(東京)

### 分科会14 性と教育

テーマ▶子ども・若者の権利と性  
内容▶○子ども・若者の性をめぐる現状  
○権利としての性の学び  
○一人ひとりが大切にされつながられる学校へ  
世話人▶杉田真衣(東京)・中嶋みさき(東京)

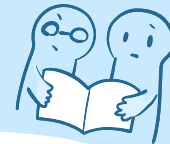


### 分科会15 発達障害と教育

テーマ▶子ども理解の深化と自己の育ちを支える実践の追求  
内容▶○子ども一人ひとりの願いや困難、  
教師・援助者や家庭への理解を深める  
○子ども・青年の「自己の育ち」を支える教育実践のあり方を探る  
世話人▶加茂勇(新潟)・小池雄逸(東京)

### 分科会16 現代の子育てと親・おとな

テーマ▶いま、親・おとなの共同について、あらためて考える  
内容▶○分科会発足当時に見る問題意識  
○#Me Tooの市民運動—違うからオモイ—  
○子どもを育てることは共同なしにできない  
○子どもの発達と親・おとなの生き方・実感  
世話人▶渡邊由之(大阪)・石本日和子(兵庫)



### 分科会17 教師の危機と希望

テーマ▶教師=専門職の学びと仕事  
内容▶○教師の専門性を揺るがす近年の政策動向  
○教師の仕事と学びの本質を問い直す  
○日々の仕事のなかから教育実践を紡ぎ出す  
世話人▶霜村三二(埼玉)・山崎隆夫(東京)



### 分科会18 教室と授業を語る

テーマ▶ICTつかってみるしかないからね  
内容▶○ロイロノート、つか「てみた」  
○ICT機器を子どもにどう使わせている?  
○ICT機器の使いどころは?  
○ICT機器を使って「子ども」は何をどのように学んでいる?  
世話人▶石垣雅也(滋賀)・西田佳(東京)





子どもや教育をめぐる課題をさまざまな角度から考え合ひましょう!

日時 ▶ 8月10日(木)9:30~12:00 会場 ▶ 自由の森学園中学高校+オンライン

**A** 不登校をさまざまな角度から考える

不登校政策の変遷、それを当事者である子ども・保護者・教師・その周辺にいる人たちはどう受け止めてきたのか。急増する不登校について考え合ひたい。  
世話人▶ 荒巻りか(東京)・南出吉祥(岐阜)



**B** 公正な教育評価?~中学校の評価・評定

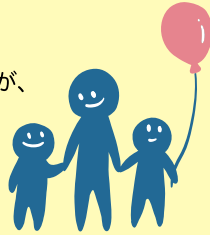
中学校の評価は、評定結果の公平性にかかわる説明責任を要請する教育行政によっていかに歪められているのか。教育現場で今起きている問題から考えます。  
世話人▶ 中村清二(東京)・本田伊克(宮城)

**C** 子どものからだ、教師のからだ一相手になるとき

教師が目の前の子どもの相手になれない。子どもを操作の対象にしてしまう教師のからだと語り口がある。応えたいのに応えられない。なにによってか。そこから出発したい。  
世話人▶ 石本日和子(兵庫)・霧村三二(埼玉)

**D** 「教師の働き方、働かされ方」を考える

「働き方」改革、と教師の働き方に課題があるように喧伝されるが、本質は教師の働かされ方ー労働条件の問題である。その立ち位置から、この問題を考え合ひたい。  
世話人▶ 石垣雅也(滋賀)・藪内恵(東京)



**E** 性の多様性を生き、学ぶ中高生

男女二分化や異性愛を前提とした規則や文化が根強くある学校の中で、だれもが自分の性を尊重されて生きていけるために必要な学習や文化について考える。  
世話人▶ 片岡洋子(埼玉)・杉田真衣(東京)

**F** 平和の危機を子どもとともに考える

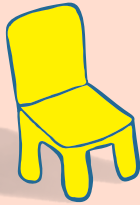
ウクライナ戦争を機に台湾有事が囁かれ、危機管理体制を強める日本。戦争の前で人の弱さとは…戦後日本の平和教育とは…原点に立ち戻って考える。  
世話人▶ 佐藤広美(東京)・桜井恵子(神奈川)

**G** 特別な教育的ニーズのある子どもの現在・未来

国連障害者権利条約委員会の日本への勧告は、「特別支援教育は中止」することを求めるものだった。特別支援教育の実態を確認し、今後の在り方を議論したい。  
世話人▶ 加茂勇(新潟)・窪島務(滋賀)



おわりの集い



パネルディスカッション

「自分の問題」を超えていく活動に参加するということ  
ー高校生の自主活動を通してー

日時 ▶ 8月10日(木)13時00分~15時  
会場 ▶ 自由の森学園中学高校+オンライン



stay

宿泊▶各自でご用意ください。  
飯能市内、西武池袋線や八高線沿線をお探しのうえ、お早めにご予約ください。

lunch

昼食▶申し込み期限6月30日  
食堂で「自由の森学園ランチ」(550円)を用意します。  
※参加申し込み後に配信されるグーグルフォームにてお申し込みください。



kids room

キッズルーム▶申し込み期限7月22日  
[対象]3歳~小学生  
※参加申し込み後に配信されるグーグルフォームにてお申し込みください。詳しくは、問い合わせ先にご連絡ください。



バス・駐車場・昼食・保育・教科研講座①はグーグルフォームでの申し込みが必要です。期限もご確認ください。



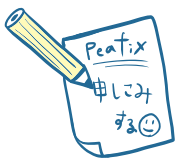
参加費

	全日参加	1日参加
会員	教職員(常勤) 5000円 / その他 4000円	教職員(常勤) 2500円 / その他 2000円
非会員	教職員(常勤) 5500円 / その他 4500円	教職員(常勤) 3000円 / その他 2500円

学生・院生▶全日・1日とも1000円 高校生以下▶無料 ※「その他」は保護者・市民・退職者など

申し込み

教育科学研究会ホームページ(<http://kyoukaken.jp>)の大会特集ページからお申し込みください。  
〔「教科研」と入力しても開きます〕 Peatixを利用して参加費を納入していただきます。



問い合わせ

教育科学研究会(金13:00~17:00) 〒162-0818 東京都新宿区築地町19小野ビル2階  
Tel&Fax 03-3235-0622 / Email [kyoukaken@nifty.com](mailto:kyoukaken@nifty.com)

